

1. はじめに

Medical Delegate（医療代表、以下MD）は、競技中の救護体制を統括的に把握し、選手・大会関係者の安全確保を支援する役割を担う。MDの立場は、大会運営における救護体制の監督的な立場であるが、あくまで円滑な救護体制の構築と運用を支援することにある。大会組織委員会、医療関係者、Technical Delegate（技術代表、以下TD）と協力し、万全な医療体制の確立に寄与することを目的としている。

2. MDの主な業務

MDの業務は、競技前・競技中・競技後の三つのフェーズに分かれる。

(1) 競技前

MDは、大会組織委員会と協力し、以下の準備を進める。

- Medical Plan（大会医療計画）の確認ならびに承認（競技1か月前までに）
 - ・医療計画（スケジュール、コースマップ、動線、後方病院、救護所ならびに救護車両配置など）の確認。
 - ・スイム競技における水質管理・溺水対応計画の確認。
 - ・バイク競技における事故発生時の対応計画の確認。
 - ・ラン競技における心停止・熱中症等の緊急対応計画の確認。
- 事前打ち合わせとシミュレーション、現場確認
 - ・Race Medical Director（競技医療責任者、以下RMD）、救護チームとの連携確認
 - ・現地における救護施設ならびに資機材の確認。
 - ・ドーピング検査に関してリードDoping Control Officer（ドーピング検査員、以下DCO）との調整（検査が実施される場合）。
 - ・スイムレスキューシミュレーションの統括
（基本的に競技前日、やむを得ない場合競技当日の朝）。

(2) 競技中

MDは競技の進行に合わせ、適切な救護対応が行われるよう支援する。

- 救護体制の監督と支援
 - ・スイム、バイク、ランの各セクションにおける医療対応状況の把握。
 - ・フィニッシュラインおよびリカバリーエリアの管理。
アスリートの安全確保と回復のサポート。
 - ・医療エリアの適正管理（不要な人の立ち入りを制限）。
- 暑熱環境管理
 - ・WBGT（wet-bulb globe temperature、湿球黒球温度）の計測・表示（競技開始3時間前～終了まで）。
 - ・WBGT Risk Categories(※)に基づく選手・関係者への情報提示。
※WBGT Risk Categories World Triathlon Competition Rules p70(PDF p95参

照)

https://www.jtu.or.jp/wordpress/wp-content/uploads/2023/01/WorldTriathlon_Competition-Rules_JP_2023.pdf

(3)競技後

MDはレース終了後、救護活動の振り返りと記録管理を確認する。

- 救護所受診、搬送記録の整理を確認。
- TDと報告書作成。
- 救護チームデブリーフィングへの参加。

3. MDの立場と役割

MDは、大会運営に際して医療体制が適切に機能するよう助言を行う。競技の特性を理解し、現場の医療関係者や運営チームと連携することで、選手の安全確保を最優先とした大会運営をサポートする。組織委員会の皆様と協力し、より安全で円滑な競技環境の実現に努める。MDは医療従事者が担当するが、医師が担うことが望ましい。

参考：以下に具体的な業務を示す。

< 競技会前日 >

1. 選手競技説明会出席：説明会后、メディカルに関する質問があれば要対応。
2. スイム試泳救護対応。
3. スイム救護引き揚げシミュレーション対応：立ち会いならびにライフセーバーと陸上スタッフとの連携を確認。
4. マリンミーティング：MD 同席は必須ではないが、マリンチームの連携確認のため可能であれば同席。
5. ドーピングミーティング（ドーピング検査が実施される場合）：リード DCO との顔合わせ、検査数、検査対象、バイネーム（最初から検査することが確定している選手、ターゲットアスリートとも言う）の有無、病院搬送時の検査対象の扱い、バイネームが DNF（Did Not Finish）の際に選手と DCO・シャペロンを引き合わせる方法について確認。検査の詳細については守秘義務遵守。
6. 救護所準備状況確認(World Triathlon主催大会のみ)：World Triathlon Medical Delegate Roles & Responsibilities 内のチェックリストに基づき実施する。大会前日に全て確認できない場合は、大会当日に確認してもよい。

○World Triathlon Medical Delegate Roles & Responsibilities

https://cms.triathlon.org/assets/70fca01e-1e6b-4195-96be-7cebfbc200d3/World_Triathlon_Sport_Medical_Delegate_Roles_Responsibilities.pdf

なお各チェック内容の基準は、Medical and Anti-Doping Management at World Triathlon Events 参照。

○Medical and Anti-Doping Management at World Triathlon Events

https://cms.triathlon.org/assets/af765bcc-4de3-4d6f-b605-aca0b317711e/Medical_and_Anti-Doping_Management_in_World_Triathlon_Events-

[final1.pdf](#)

< 競技会当日 >

1. 実施検討委員会立ち会い：実施可否につきメディカル面から判断。
2. 気象条件（WBGT）計測、記録、気象状況掲示：各カテゴリースタート3時間前から30分毎に計測し、結果を記録した後、WBGT risk categories に照らして flag をアスリートラウンジ前に掲示。flag color が変わった際にはすぐに掲示に反映する。計測終了は競技終了時。
3. 救護チームブリーフィング(立ち上げミーティング)立ち会い。
4. 各カテゴリースタート時：スタートエリアで選手監視。
5. コース上での救護事案発生時：受傷選手対応状況を把握、受傷選手のチーム関係者への連絡を指示、病院搬送時はその後についてフォローアップ。受傷案件は TD と情報共有。
6. 各カテゴリーフィニッシュ時：フィニッシュエリアに立ち、選手の状態を確認し、救護の必要性につきトリアージを行う。
7. 救護チームデブリーフィング（終礼）立ち会い。
8. 救護所受診状況把握：救護所受診状況を集約。トライアスロンジャパンメディカル・アンチドーピング委員会へ報告。

以上